

空手や茶道体験も

マリエタ高から生徒来訪

糸島高

糸島高校（仲原英城校長）と交流している米カリフォルニア州マリエタ

バレエ高校の生徒六人と引率の教諭二人が十日から十七日までの一週間、前原市篠原の糸島高校を

訪れ、日本での高校生活を体験した。

糸島高とマリエタバレエ高は一九九七年から交流を始め、今までに六度ずつ訪問し合い、交流を重ねている。



マリエタ高生と糸高・仲原校長(中央)

十一日には集会が開かれ、一行は全校生徒から歓迎を受けた後、国語や数学、歴史など一般の授業を受けた。

放課後には茶華道部の部活動に参加し、初めて

茶道を体験。マリエタ高生徒会長のボー・ディダ君(18)は「泡がいっぱい立っててカプチーノみたい。健康になりそう」と少しびっくりしながらも、おいしそうにお茶を飲んでいました。

また一行は、前原南小の授業に参加したり、柔道、空手、書道を習ったりと、日本での生活を楽しんで。



茶道で日本の心を体験するマリエタ高生